

このたびは当社のロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

トラブルなく釣りを楽しんでいただくために、下記の注意事項をお守りの上ご使用くださいますようお願い申し上げます。

### 【重要】

取扱説明書はご使用前に必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。取扱説明書をご覧いただいていない場合、もしくは記載の注意事項が守られていない場合は、保証書が付いている製品でも保証等を受けられなくなる場合がございます。

### 安全上のご注意

高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故（感電死）を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意くださいようお願い申し上げます。

気象条件により、空気中に電気を帯びている場合がございます。ビリビリと電気を感じるのはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けくださいますようお願い申し上げます。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。

### 電線との接触による感電

高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してくださいようお願い申し上げます。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触または釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでくださいますようお願い申し上げます。

### 落雷による感電

落雷による感電に注意してくださいようお願い申し上げます。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ安全な場所に移動してくださいようお願い申し上げます。落雷による感電死を招く恐れがあります。また、雷の発生がなくとも、釣竿から電気を感じるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してくださいようお願い申し上げます。

## 釣り場以外の電線による感電

釣り場以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してくださいようお願い申し上げます。

## キャスティング（投げる）時の警告

キャスティング（投げる）時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してくださいようお願い申し上げます。釣針が人に刺さったり、ウキ、オモリ、ルアーが人に当たると非常に危険で、重大事故に繋がる恐れがあります。

- ・ 子供の手に届く所には置かないでくださいようお願い申し上げます。予期せぬ事故や怪我に繋がる恐れがあります。

- ・ 釣竿を釣り以外の目的に使用しないでくださいようお願い申し上げます。事故や怪我に繋がる恐れがあります。

- ・ 破損時の取り扱い方 使用中、竿が破損（折れ、割れ、欠け、剥離など）した場合、破損した場所の破片などで手など怪我をする恐れがありますので触れないでくださいようお願い申し上げます。

- ・ 竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります。折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。

- ・ 安全に釣りをして頂くために 竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。釣りをする際には、安全のためサングラス（偏光グラス）、帽子の着用をお勧めします。

- ・ 製品の故障による付随的な損害（リール・玉網・枠・ギャフ・糸・仕掛け等の釣具、魚、交通費・乗船料等の釣行費）についてはいかなる場合にも保証及び弁償致しかねます。

- ・ 固い物や角にぶつける、落とすなど、ロッドに強い衝撃を与えないよう、持ち運び・取り扱いには充分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

- ・ ロッドアクションを見るためにオモリをぶら下げたり、ロッドを曲げたりする際には、製品を完全に継ぐ、または伸ばし、使用時と同じ状態で必ずグリップを持って行ってくださいますようお願い申し上げます。穂先のみを曲げることや、ロッドの途中の部分を持つことは破損につながります。

- ・竿は一点一点、手作業で仕上げられています。そのため、商品により色調や質感に若干の差が生じる場合がありますが、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

- ・保証書が付属している製品では、保証書に記載されている規定もお読みくださいますようお願い申し上げます。

- ・改造はしないでくださいますようお願い申し上げます。改造してある製品の修理又は保証はできません。

- ・点検・修理の際にグリップ部に滑り止めの収縮チューブやステッカーなどを剥がす場合がありますので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

#### ●ロッドの継ぎ目と差し込みについて

継ぎ目はしっかりと差し込み、使用中も時々確認してくださいますようお願い申し上げます。使用中にゆるみが出たまま使用を継続すると破損の原因になります。また、合わせが緩いと抜けてしまう恐れがあります。

- ・並継ぎや印籠継ぎなど継ぎ目がある釣り竿では、継部は一定の隙間（5～15mm程度）が開くようになっております。不良ではありませんので削ったりしないでくださいますようお願い申し上げます。また、押し込みすぎると破損の原因になります。

#### ●ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラス・カーボン・チタンなど素材を問わず、各部分に発生する曲がりを100%排除することは不可能です。じゃっかんの曲がりはこちらでご了承くださいますようお願い申し上げます。強度・機能上は問題ありません。

#### ●ガイド糸巻き部のひびについて

ガイドを巻いている糸（ガイドスレッド）のエポキシのひび割れは、金属でできたガイドはほぼ曲がらないのに対して、ロッドは曲がるものであり、ガイドのフット（足）部分がエポキシを突き上げるような状態を繰り返すことによって起こります。使用期間が長いほどエポキシのひび割れがでやすくなりますが、糸巻きでガイドをしっかりと固定していますので、ガイドがぐらつかなければ実用上の問題はほぼありません。現在の生産技術上、このひび割れを完全に防ぐ方法はございません。

### ●根掛かりの外し方

・水中あるいは陸上の障害物に仕掛けやルアーが絡み、根掛かりした場合、むやみに竿をあおらないでくださいますようお願い申し上げます。竿またはガイドを破損することがあります。

・根掛かりは、出来るだけ糸を手にとって引っ張って切ってくださいようお願い申し上げます。その際、糸で手を切ることがありますので、必ず手袋やタオルで手を保護してくださいようお願い申し上げます。また、外れた仕掛けが飛んできて怪我をする場合がありますので充分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

### ●スペック内でご使用ください

船竿では錘負荷やハリス、ルアーロッドでは使用ライン号数（またはポンド数）やドラッグなど各製品の指定スペック内でご使用くださいますようお願い申し上げます。

### ●巻き過ぎ／糸絡みに注意してください

リールを付ける釣り竿の場合、道糸の巻き過ぎに注意くださいますようお願い申し上げます。糸絡みしたままで無理に糸を巻き込むと竿の一部に無理な力がかかり折れる場合があります。また、ルアー、ヨリモドシやウキなどを巻き込むと穂先が破損します。

### ●取り込み時の注意

取り込みの際など、竿を立てすぎないように注意くださいますようお願い申し上げます。また、竿を立てた状態での強いアワセや、魚やビシなどを空中に吊るして竿を立てることも破損につながります。大型の魚を取りこむ際は玉網などを使用し、竿で抜き上げることはしないでくださいますようお願い申し上げます。

### ●ロッドホルダー、ロッドクランプをご使用の場合の注意点

ロッドホルダーやロッドクランプの使用時において強い締付を行いますと、締付部（素材等）の破損が生じる恐れがありますのでご注意くださいようお願い申し上げます。

### ●使用後のお手入れについて

・使用後は、真水かぬるま湯で表面の汚れや塩分を洗い流し、その後水分を拭き取り、日陰で干して水分を完全にとってくださいようお願い申し上げます。

・タワシ、磨き粉、ベンジンやシンナーなどのご使用は絶対に止めてくださいますようお願い申し上げます。塗装だけでなく釣竿本体も傷めてしまう可能性があります。

・高温・密閉状態での保管は止めてくださいますようお願い申し上げます。濡れたままケースにしまう、車内での長時間放置などは塗装面のブリストア（水ぶくれ）や金属部のサビが発生する原因となります。また、高温下で保管すると継目が膨張し、継げなくなってしまう場合があります。

・継ぎ目には潤滑剤などを使用しないでくださいますようお願い申し上げます。特に振出タイプの釣竿・玉の柄で潤滑剤を使用すると、必要以上にはまり込み固着の原因となります。

#### ●固着（継ぎ目がとれにくくなった）した時

##### ・並継ぎ／印籠継ぎ竿の場合

ゴムシート等のスベリ止めを当てて、図のように2人で向き合い、継ぎ目に近いところをしっかりと握ります。お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら引き抜きます。

※ゴムシートの他、裏に滑り止め加工がしてあるロッドベルトでもある程度代用できます。

※ガイド付きの竿の場合、ガイド部分は握らないようにしてくださいますようお願い申し上げます。ガイドやガイド糸巻き部を損傷する恐れがあります。

##### ・ガイド付き振出竿の場合

並継ぎ竿と同じ要領ですが、振出竿の場合はお互いに逆方向にネジリながら、ゆっくりと押し込みあいます。この時に一気に力を入れて押し込みますと、ロッドの継ぎ目に手を挟み、怪我をする恐れがあります（手袋の着用をお勧めします）。

##### ・ガイド無し振出竿の場合

まず、元竿の尻栓を外し、固着していない部分を必ず抜き取ってくださいようお願い申し上げます。板面等のあまり硬くない水平面に垂直に立て、元竿や仕舞い込んだロッドを誘導管にして固着したロッドをストン、ストンと垂直に落とせば意外と簡単に外れます。その際、タオルや段ボールなどを敷いておけば釣竿の端を傷つけにくくなります。

### ●ガイド付き（振出）の釣竿での注意

・伸ばす時は穂先側から継いでくださいますようお願い申し上げます。収納時は逆に元竿から外してくださいますようお願い申し上げます。

・道糸は全てのガイドに確実に通してくださいますようお願い申し上げます。一部ガイドに糸が通っていないと破損する恐れがあります。

・ガイドがまっすぐ一直線になるようにセットしてくださいますようお願い申し上げます。

・竿を継ぐ、あるいは伸ばす際や仕舞う際にガイド部を持つとガイドやガイド糸巻き部などの破損につながりますので、ガイド部は持たないでくださいますようお願い申し上げます。

### ●振出タイプの釣竿の伸ばし方・納め方

振出タイプの釣り竿は、並継ぎやインロー継ぎの釣り竿と比べ、扱いを間違えると破損につながりやすいのでご注意くださいようお願い申し上げます。

※ガイドの有無に関わらず、振出竿においては振って伸ばすと固着または破損の原因となりますので絶対におやめくださいますようお願い申し上げます。

※ガイドの有無に関わらず、使用前に下栓（尻栓）が確実に締まっているか確認してくださいようお願い申し上げます。

#### 【ガイド無し（振出）釣竿の伸ばし方】

穂先から順に１本ずつ伸ばしてくださいますようお願い申し上げます。その際、各節の継ぎ部をねじるようにして手で継ぎ目をしっかり固定してくださいますようお願い申し上げます。

#### 【ガイド無し（振出）釣竿の納め方】

必ず元竿から順番に収納してくださいますようお願い申し上げます。穂先など細いほうから収納すると太い節の中に入り込み、破損の原因となります。

### 【ガイド付（振出）釣竿の伸ばし方】

穂先から順に 1 本ずつ伸ばしていただきますようお願い申し上げます。その際、各節の継ぎ部をねじるようにして手で継ぎ目をしっかり固定していただきますようお願い申し上げます。また、ガイドリングは一直線上に並ぶように調整していただきますようお願い申し上げます。

### 【ガイド付（振出）釣竿の納め方】

必ず元竿から順番に収納していただきますようお願い申し上げます。

### 【ガイド付（振出）釣竿での注意点】

遊動ガイドがある振出釣竿では、遊動ガイドが動かないよう確実にセットしていただきますようお願い申し上げます。一部ガイドに糸が通っていない、遊動

ガイドが動いてしまっている場合は破損に繋がる恐れがあります。

- ・使用中にガイドがズレていないか時々確認していただきますようお願い申し上げます。ガイド位置の不備は破損に繋がります。

- ・ガイド付きの振出竿で、ラインを通したまま持ち運びすると、特に穂先部の破損の恐れがあります。また、穂先部が伸びた状態での持ち運びも同様に穂先部の破損をしやすくなります。穂先カバー（トップカバー）を付け、穂先部が伸びない状態で持ち運びしていただきますようお願い申し上げます。

- ・ガイド付き振出竿のガイドキャップを外す際には真上にまっすぐ引き抜くようにしていただきますようお願い申し上げます。無理にひねったり、こじったりすると穂先・#2等を折ってしまうことがあります。

### 【ガイド付き並継ぎ・印籠継ぎ竿での注意点】

- ・竿を継ぐ際には前後のガイドのセンター合わせをすると同時に継ぎ部の合わせをしっかりと行っていただきますようお願い申し上げます。合わせが緩いとキャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。

- ・フルキャストを繰り返す場合、定期的にロッド継ぎ部の合わせ具合をご確認くださいようお願い申し上げます。合わせが緩くなっているとキャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。

- ・竿を継ぐ、もしくは仕舞う際に、ガイド部を持たないでくださいますようお願い申し上げます。ガイドの破損や変形、厚塗り部の割れや剥離、糸巻きが破損する恐れがあります。

### ●節落ち（中落ち）について

玉の柄やガイド無しの振出竿で、上部の細い節が先に落ち込み、後から途中の太い節が落ち込むことを「節落ち（中落ち）」といい、図のようなトラブルが生じて玉口や竿の内部を傷つけてしまう場合が多く見られます。

- ・節落ちが起きた場合は引き出さず、尻栓を外して全部抜き出し、全てバラバラにしてから入れ直してくださいますようお願い申し上げます。その際、割れや欠けが見られましたら、修理にお出しくさいますようお願い申し上げます。

- ・節落ちを防ぐには①使用中に緩んでいないか時々確認し、使用中に何度か締め直す②伸ばすときは上の節（細い方）から出し、縮めるときは下の節（太い方）から入れてくださいますようお願い申し上げます。

### ●玉の柄における注意点

- ・玉の柄はすくった魚を垂直方向に引き上げて取り込む前提で強度設定しています。水平に持ち上げると破損する場合があります。

- ・弊社の玉の柄のネジ規格は **W1/2**（四分ネジ）です。共通規格であっても、他社製品が適合しない場合がありますので、現品同士による装着確認をしてくださいますようお願い申し上げます。



●カスタマーサポートのご案内

当社製品に対するお問い合わせがございましたら、下記のフリーダイヤルやメールをご利用くださいますようお願い申し上げます。

フリーダイヤル 0120-33-8451（テイルウォーク）

※フリーダイヤル受付時間 8:30～12:00／13:00～17:30（土日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く）

※メールの場合はホームページのお問い合わせをご利用くださいますようお願い申し上げます。

●ホームページ FAQ（良くある質問と答え）のご案内

ホームページ FAQ コーナーでは、お客様から良くお問い合わせをいただくことについて Q&A を掲載しております。そちらもご利用くださいますようお願い申し上げます。

